

令和 7年度
保険者機能強化推進交付金・
介護保険保険者努力支援交付金の
評価結果について

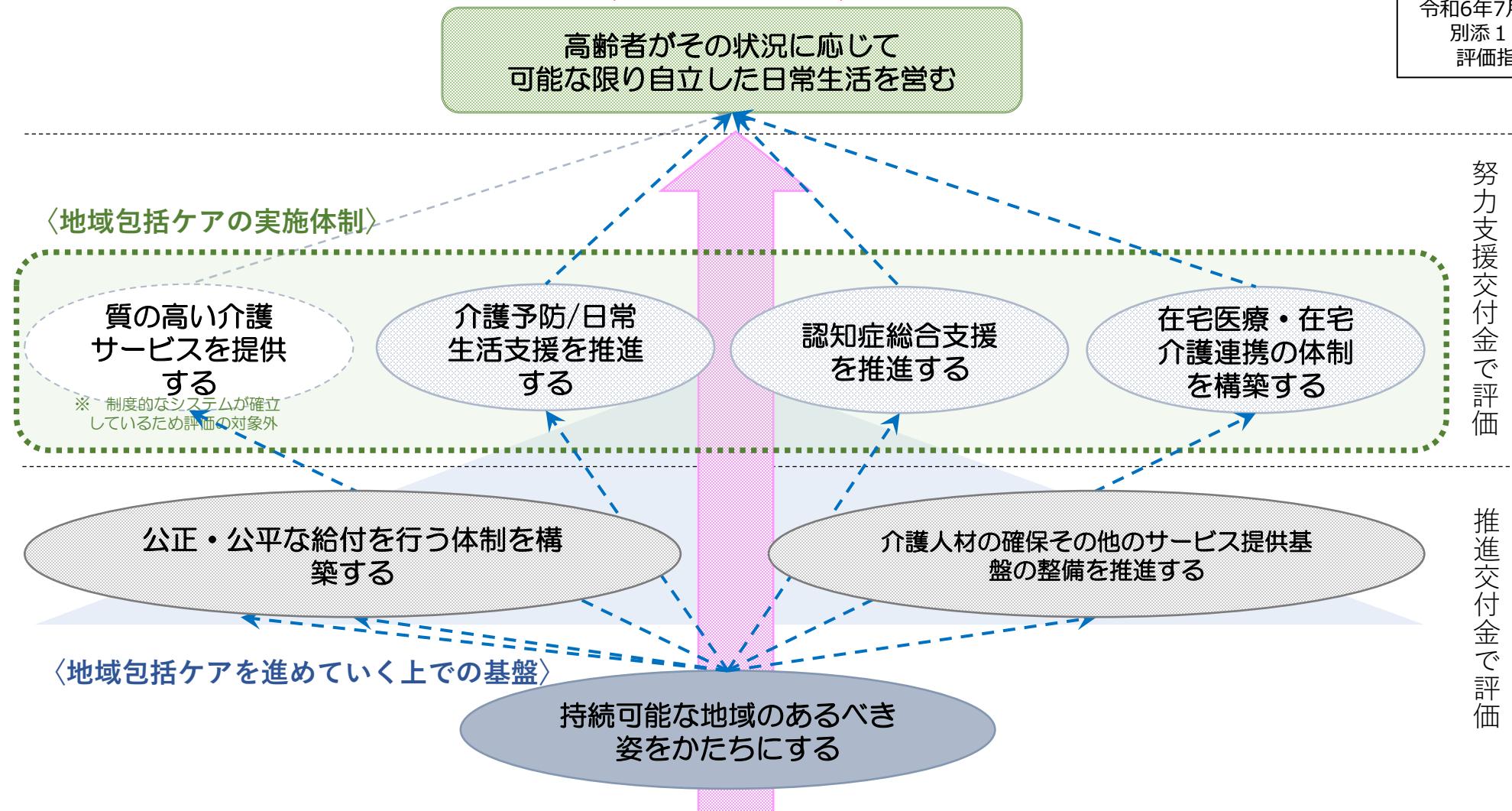
保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について

- ・各市町村が行う自立支援・重度化防止の取組及び都道府県が行う市町村に対する取組の支援に対し、それぞれ評価指標の達成状況(評価指標の総合得点)に応じて、国から交付金が出る。
- ・令和2年度から、**保険者機能強化推進交付金**に加え、**介護保険保険者努力支援交付金**が創設され、介護予防・健康づくり等に資する取組が重点的に評価される。

保険者機能強化推進交付金と介護保険保険者努力支援交付金の評価体系について

〈最終的な政策目標〉

令和6年7月25日老介発第2号
別添1-2「令和7年度
評価指標概要」より抜粋



高齢化等が進展する中、地域における人口動態等の変化を見据えながら、
保険者機能を強化し、政策目標の実現を図ることが必要

保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について

- 原則として、令和6年度（2024年度）の実施状況を評価。（一部例外あり、各スライドにその旨記載）
- （※）印の項目は、調査結果やデータを踏まえ厚生労働省で実績を算定し、全国の自治体のうち上位7割、上位5割、上位3割、上位1割の順に加点される。
- 本資料は、厚生労働省HPに掲載されている「保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金の集計結果（市町村分）令和7年度分」をもとに多摩市高齢支援課・介護保険課で作成
- 出典：厚生労働省”保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金の集計結果について”.https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_17090.html

令和7年度保険者機能強化推進交付金等に係る総合得点 <推進+支援>

	令和7年度保険者機能強化推進交付金等 に係る総合得点 <推進+支援>	満点	全国 平均	東京都 平均	多摩市 得点
1	保険者機能強化推進交付金 合計	400	219.2	230.9	240.0
2	介護保険保険者努力支援交付金 合計	400	215.7	213.6	247.0
3	推進・支援合計	800	434.9	444.5	487.0

【評価指標の分析等】

・推進・支援ともに合計点は全国平均・東京都平均を上回っている。

推進：目標Ⅰ「持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする」得点

	推進：目標Ⅰ「持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする」得点	満点	全国平均	東京都平均	多摩市得点
1	地域の介護保険事業の特徴を把握しているか	16	14.4	15.2	16.0
2	介護保険事業計画の進捗状況（計画値と実績値の乖離状況）を分析しているか	16	12.6	14.6	16.0
3	自立支援、重度化防止等に関する施策について、実施状況を把握し、必要な改善を行っているか	16	12.9	13.1	16.0
4	評価結果を関係者間で共有し、自立支援、重度化防止等に関する施策の遂行に活用しているか	16	9.5	10.9	16.0
5	今年度の評価得点（令和6年度評価得点の全国順位を評価）（※）	12	4.8	5.5	6.0
6	後期高齢者数と給付費の伸び率の比較（※）	12	4.8	3.2	3.0
7	PFS（成果連動型民間委託契約方式）による委託事業数（※）	12	0.3	0.2	0.0
	合計	100	59.4	62.7	73.0

【評価指標の解説・得点率の低かった指標の分析等】

- ・「6 後期高齢者数と給付費の伸び率の比較」は、2017年から2023年までの後期高齢者数の伸び率から給付費の伸び率を除して得た数が評価される。多摩市は得点率は25%で、東京都平均とは同水準であるが、全国平均は下回っている。
- ・「7 PFS（成果連動型民間委託契約方式）による委託事業数」は、令和5年度（2023年度）実績にもとづく評価となっている。自治体が行政課題の解決に対応した成果指標を設定し、成果指標値の改善状況に連動して委託費等を支払うことにより、民間事業者に対して、より高い成果の創出に向けたインセンティブを働かせる契約方式をいう。静岡市、大阪府堺市などで導入実績がある。

推進：目標Ⅱ「公正・公平な給付を行う体制を構築する」得点

	推進：目標Ⅱ 「公正・公平な給付を行う体制を構築する」 得点	満点	全国平均	東京都平均	多摩市得点
1	介護給付費の適正化に向けた方策を策定しているか	32	23.5	27.0	32.0
2	介護給付費適正化事業を効果的に実施しているか	36	23.8	21.9	24.0
3	ケアプラン点検の実施割合（※）	16	6.4	3.1	0.0
4	医療情報との突合の実施割合（※）	16	11.7	12.6	16.0
	合計	100	65.4	64.6	72.0

【評価指標の解説・得点率の低かった指標の分析等】

- ・この表の（※）指標はいずれも令和5年度（2023年度）実績にもとづく評価となっている。
- ・今回の実施状況の集計では「3 ケアプラン点検の実施割合」の得点が反映されていないが、令和6年度より「ケアプラン点検」を再開しているため、改善されるものと考えている。ケアプラン点検については令和7年度以降も継続していく予定である。

推進：目標Ⅲ「介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する」得点

	推進：目標Ⅲ「介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する」得点	満点	全国平均	東京都平均	多摩市得点
1	介護人材の確保・定着の取組状況	30	17.2	21.9	24.0
2	庁内・庁外における連携体制	34	21.6	25.1	34.0
3	介護の仕事の魅力を伝達するための研修の修了者数（※）	12	1.8	2.8	6.0
4	介護人材の定着・資質向上に関する研修の修了者数（※）	12	2.1	4.8	6.0
5	介護支援専門員に対する研修（介護支援専門員法定研修を除く。）の総実施日数（※）	12	3.9	5.9	0.0
	合計	100	46.6	60.4	70.0

【評価指標の解説・得点率の低かった指標の分析等】

- ・この表の（※）指標はいずれも令和5年度（2023年度）実績にもとづく評価となっている。
- ・「3 介護の仕事の魅力を伝達するための研修の修了者数」「4 介護人材の定着・資質向上に関する研修の修了者数」については得点率は50%であるものの全国平均・東京都平均を上回っている。指標3は地域住民を対象とした研修で、指標4は介護職員を対象とした研修の修了者数が評価されるものであるが、受講者を増やすための工夫が求められる。
- ・「5介護支援専門員に対する研修（介護支援専門員法定研修を除く。）の総実施日数」は、介護支援専門員を対象としたケアマネジメントの質の向上に関する研修の実施日数が評価されるが、研修の時間数が1日につき4時間以上の場合に計上できる。多摩市ではケアマネジャーの多忙な状況を考慮し、短時間での実施を行っている上に、介護職員向けの研修とバランスよく行っているため、実績が伸びにくい状況である。

支援：目標Ⅰ「介護予防／日常生活支援を推進する」得点

	支援：目標Ⅰ「介護予防／日常生活支援を推進する」得点	満点	全国平均	東京都平均	多摩市得点
1	データを活用した課題の把握	6	4.6	4.1	6.0
2	アウトリーチ等の取組状況	9	5.8	6.2	9.0
3	介護予防等と保健事業の一体的実施	7	5.8	5.2	7.0
4	通いの場参加者の健康状態の把握・分析	7	5.1	4.6	7.0
5	地域リハビリテーションの推進に向けた具体的な取組	7	4.3	4.0	7.0
6	生活支援コーディネーターの活動等による介護予防・生活支援の体制整備	9	5.9	5.8	9.0
7	多様なサービスの活用推進に向けた実施状況の調査・分析・評価	7	3.6	3.8	7.0
8	地域包括支援センター3職種（保健師等、社会福祉士、主任介護支援専門員）の配置状況（※）	4	1.6	1.7	1.0
9	地域包括支援センター事業評価の達成状況（※）	12	5.1	5.2	10.0
10	地域ケア会議における個別事例の検討割合（※）	4	1.6	0.7	1.0
11	通いの場への参加率（※）	8	3.2	3.2	5.0
12	高齢者のポイント事業への参加率（※）	4	1.1	0.8	1.0
13	通いの場等における心身・認知機能維持・改善者の割合（※）	4	1.2	1.0	1.0
14	生活支援コーディネーター数（※）	4	1.6	0.9	2.0
15	生活支援コーディネーターの地域ケア会議への参加割合（※）	4	2.5	2.7	4.0
16	総合事業における多様なサービスの実施状況（※）	4	2.2	2.6	2.0
	合計	100	55.3	52.5	79.0

【評価指標の解説・得点率の低かった指標の分析等】

- ・この表の（※）指標はいずれも令和5年度（2023年度）実績にもとづく評価となっている。
- ・どの指標についてもおおむね全国平均・東京都平均を上回っているが、「8 地域包括支援センター3職種の配置状況」（高齢者人口当たりの地域包括支援センターに配置される3職種の人数）については平均を下回っている。ただし、全国平均・東京都平均との差は0.6程度である。
- ・「10 地域ケア会議における個別事例の検討割合」については全国平均を下回っているが、東京都平均は上回っている。

支援：目標Ⅱ「認知症総合支援を推進する」得点

	支援：目標Ⅱ「認知症総合支援を推進する」得点	満点	全国平均	東京都平均	多摩市得点
1	認知症サポーター等を活用した地域支援体制の構築	25	14.0	15.9	25.0
2	早期診断・早期対応の体制構築	19	14.9	16.8	19.0
3	難聴高齢者の早期発見・早期介入	20	4.5	5.5	0.0
4	認知症サポーター数（※）	12	4.8	3.9	3.0
5	認知症サポーターステップアップ講座修了者数（※）	12	2.0	1.5	0.0
6	認知症地域支援推進員の業務の状況（※）	12	6.4	6.2	12.0
	合計	100	46.5	49.8	59.0

【評価指標の解説・得点率の低かった指標の分析等】

- ・この表の（※）指標はいずれも令和5年度（2023年度）実績にもとづく評価となっている。
- ・「3 難聴高齢者の早期発見・早期介入」については、聞こえに関する啓発・スクリーニング・助言・受診勧奨等、普及啓発・早期発見の取組を実施していないため、得点率が低くなっている。
- ・「4 認知症サポーター数」、「5 認知症サポーターステップアップ講座修了者数」は、厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課調べを踏まえ、厚生労働省において算定、「6 認知症地域支援推進員の業務の状況」は、「認知症総合支援事業等実施状況調べ」を踏まえ、厚生労働省において算定している。
- ・「5 認知症サポーターステップアップ講座修了者数」の得点率が低いが、全国平均・東京都平均も得点率が低いため、全国的に実施が進んでいないようである。

支援：目標Ⅲ「在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する」得点

	支援：目標Ⅲ「在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する」得点	満点	全国平均	東京都平均	多摩市得点
1	在宅医療・介護連携に関する課題の検討・対応策の具体化	26	18.0	18.5	26.0
2	在宅医療・介護連携の具体的取組状況	21	17.8	17.5	21.0
3	医療・介護関係者間の情報共有	21	17.6	16.9	21.0
4	入退院支援の実施状況（※）	16	6.4	2.3	4.0
5	人生の最終段階における支援の実施状況（※）	16	6.4	12.5	12.0
	合計	100	66.1	67.8	84.0

【評価指標の解説・得点率の低かった指標の分析等】

- ・「4 入退院支援の実施状況」については、居宅介護支援における入院時情報連携加算算定者割合、退院・退所加算の算定者割合、要介護認定者割合を厚生労働省において算定している。令和5年度（2023年度）実績が評価対象。
- ・「5 人生の最終段階における支援の実施状況」は、①診療報酬上の在宅訪問診療料（I）及び（II）において在宅ターミナルケア加算を算定している患者数、②人口動態統計による65歳以上の死亡者数を厚生労働省において算定している。令和4年度（2022年度）実績が評価対象。
- ・多摩市は、「4 入退院支援の実施状況」の得点率が低いが、東京都平均は上回っている。なお、内訳をみると、入院時情報連携加算（在宅生活から入院に移行するときに医療機関への情報提供を評価するもの）は8点中0点、退院・退所加算（病院や施設から退院・退所して在宅生活に移行するときに情報提供を受けてサービスの調整を行うことを評価するもの）は8点中4点であった。

推進・支援共通：目標IV「高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む」得点

	推進・支援共通：目標IV「高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む」得点	満点	全国平均	東京都平均	多摩市得点
1	短期的な要介護度の変化（要介護1・2）（※）	20	10.6	9.2	0.0
2	長期的な要介護度の変化（要介護1・2）（※）	20	8.0	6.6	0.0
3	短期的な要介護度の変化（要介護3～5）（※）	20	10.0	10.1	10.0
4	長期的な要介護度の変化（要介護3～5）（※）	20	8.0	9.2	5.0
5	健康寿命延伸の状況（要介護2以上の認定率、認定率の変化率）（※）	20	11.3	7.6	10.0
	合計	100	47.8	42.7	25

【評価指標の解説・得点率の低かった指標の分析等】

- ・「1,3 短期的な要介護度の変化」は2023年1月→2024年1月の変化率等、「2,4 長期的な要介護度の変化」は2020年1月→2024年1月の変化率のデータをもとに厚生労働省で算定している。
- ・多摩市は、短期的な要介護度の変化短期的な要介護度の変化（要介護3～5）及び健康寿命延伸の状況については得点が高いが、それ以外の得点は低い。